

講 座 名	Webデザイン	教 科	情報	科 目	Webデザイン
開 講 学 年	3 学年	履 修 区 分	選択	単 位 数	2 単位
教 科 書					
教 材	30時間でマスター Webデザイン 改訂版 HTML5&CSS3				

1 科目の目標・学習内容

インターネット利用者の使いやすさを意識した Web サイト（ホームページ）の設計について理解するとともに、学んだ内容を実習によって確認する。具体的には HTMLと CSSを用いたWebサイトの制作手法の基礎知識を習得する。さらに、情報モラルや情報倫理などの関連知識についても学び、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2 学習の到達目標

① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 技能	④ 知識・理解
情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

3 学習計画（記載例）

月	単元名	学習内容	評価の観点				評価規準（評価方法）
			関	思	技	知	
	1章 Webサイト制作の基礎						
	1. Webサイト制作の基礎技術	・Webページを制作するための言語、HTML、CSS、JavaScriptの概要について。	○			○	テキストの例題の作品作り 簡単な作品作り（実習作品） 小テスト（ネットワークや著作権など）
	2. Webサイトを制作する前に	・Webサイトの閲覧の仕組みと情報媒体としてのWebサイトのメリットや危険性について。	○	○		○	
	3. Webデザインの基礎	・Webサイトのデザインの基本となる文字のデザインやレイアウト、色彩の基本について。	○	○		○	
	4. Webの配色	・色の基本知識とWebページでの配色について。	○		○	○	
	5. Webサイトの制作手順	・制作するWebサイトの規模により違いはあるが、企画から制作・運用までの手順を理解する	○	○			
	6. Webサイト制作の準備	・製作に必要な機器やツールについて確認。		○		○	
	2章 HTMLの基礎						
	1. HTMLの基本要素	・HTMLドキュメントを記述するマークアップの作業とドキュメントの保存、Webブラウザでの確認作業について理解する。	○		○	○	
	2. 見出し・段落・強調	・テキストだけの簡単なWebページを作成しながら、見出し、段落、協調などの要素を理解する。	○		○	○	
	3. 文字要素	・視覚的に特徴のある文字要素を理解し効果を探る。	○		○	○	
	4. リスト	・複数の項目をグループ化することで、リスト化できることを理解する。	○	○	○	○	
	5. 画像	・写真やイラストなどを取り込む。	○	○	○	○	
	6. ハイパーリンク	・ハイパーリンクの特徴と注意点を理解する。	○	○	○	○	
	7. ページ構造	・ページ構造と文書構造を理解し、見やすいページ	○	○	○	○	

	と文書構造の設定	の在り方を模索する。					
	8. ページ内リンク	・表示できない下部のページへの移動や、効果的な演出方法を理解する。	○	○	○	○	
3章	CSSの基礎						
	1. CSSの基本	・CSSの考え方、設定できる内容、書式、記述場所などを理解する。	○	○			○
	2. 文字要素のCSS	・CSSを記述することで、文字サイズや色などを設定する。	○		○	○	
	3. 背景の指定	・CSSで全体や個々の要素に背景色を指定できる。	○		○	○	
	4. ボックスモデル	・レイアウトの基本となるボックスモデルを理解し、構造に合わせたデザインを行う。	○		○	○	
	5. Webページのレイアウト	・横に表示できるように変え、見やすさを考える。	○		○	○	
4章	Webサイトの制作						
	1. Webサイトの企画	・ワイヤーフレーム（企画案）での確認ができるよう、企画内容とデザイン案を考える。		○			○
	2. HTMLのマークアップ	・全体のアウトラインを考察しながら、トップページのマークアップを行う。	○		○	○	
	3. トップページのデザイン	・外部にCSSをおき、ヘッダーやナビゲーションなどそれぞれの部位の構成を行いリンクづける。	○		○	○	
	4. 問い合わせページ	・フォームを作成することで、入力に合わせた出力が行えるよう工夫をする。	○		○	○	
	5. レスポンシブデザイン	・端末の環境に合わせた解像度の調整を行い、レスポンシブデザインを理解する。	○		○	○	
5章	JavaScriptの使用例						
	1. JavaScriptの基礎	・JavaScriptの記述法を理解する。	○		○	○	
	2. オブジェクトの記述	・JavaScriptとHTMLとの関わりを理解する。	○	○	○	○	
	3. 時刻・タイマー処理	・実際に前章までの作品に動的な操作を埋め込む。	○	○	○		
	4. jQueryの利用	・jQueryを利用することで作業の効率化と、データ量の削減を体験する。		○	○		
	5. JavaScriptによる描画	・プログラムに外部からの入力とそれに対応した処理を可能にすることで、視覚的效果を与える。		○	○	○	
	6. lightBoxの利用	・LightBoxのライブラリーを入手することで、無償でレベルの高い作品を作ることができる。			○	○	
付録	JavaScriptの基礎						
	1. 簡単なプログラミングの記述	・必要に応じて5章の前に、JavaScriptの文法や処理方法などを理解し、5章の作業を深める。					
	2. 関数						
	3. 制御文						

4 評価基準

関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解の4観点より総合的に評価する。